

平成21年度  
生物多様性データベース作成課題  
研究報告書

研究題目 生態系情報とリンクした生物多様性データベースの作成

所属機関名 北海道大学北方生物圏フィールド科学センター

代表研究者氏名 日浦 勉 印

平成22年3月10日

## 1. 研究の進捗状況、成果の現状と今後の見込み(概要)

### 1-1. 当初の計画

地表俳諧性甲虫については、平成 21 年度には、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター小牧研究林森林資料館が所蔵する5000件の生物標本について、データベース登録を行う予定であった。

沿岸域の海産無脊椎動物については、平成 21~22 年度に厚岸湾周辺で採集を行い、新たな生物標本およびそのデータ登録を 350-400 件程度行う予定である。

### 1-2. 上記に対し、見直した点

地表俳諧性甲虫の日本語版については予定を大幅に超えるデータベース作成が行われた。英語版についてはほぼ予定通りであった。

沿岸域の海産無脊椎動物については、生態系情報とリンクした標本の登録を優先させるため、平成 21 年度に厚岸湾周辺で採集を行った標本その他、現在進行中の研究プロジェクト（「生物群集の多様性とその決定機構の空間スケール依存性- 潮間帯における大規模比較実験」）において全国各地で採集した標本の登録も行ったが、やや予定件数に満たなかった。

### 1-3. 今後の見込み

地表俳諧性甲虫については、計画では課題終了時に 25,000 件登録予定であったが、35,000 件に増加する見込みである。

沿岸域の海産無脊椎動物については、当初計画の通り、最終年度（平成 22 度）も厚岸湾周辺で採集を行い標本登録を行う他、上記 1-2 で説明した研究プロジェクトの標本登録も継続する予定である。

## 2. 作成データについて

生物分野	標本所有機関	標本所有数(概数)	データ源	表現形式	H20 年度作成データ数(日本語、英語)(実績)	H21 年度作成データ数(日本語、英語)(実績)	H22 年度作成データ数(日本語、英語)(予定)	課題終了時のデータ数(日本語、英語)(課題開始時のデータ数を含む)
海産無脊椎動物	北海道大学	318	一般標本	文字、画像	日本語：124 件 英語：124 件	日本語：194 件 英語：194 件	日本語：182 件 英語：182 件	日本語：500 件 英語：500 件
地表徘徊性甲虫	北海道大学	20,000 (今後毎年約 5,000 ずつ増加)	一般標本	文字、画像	日本語：5,000 件 英語：5,000 件	日本語：25,770 件 英語：2,881 件	日本語：5,000 件 英語：28,039 件	日本語：35,920 件 英語：35,920 件

### 3. データ項目について

地表俳諧性甲虫、沿岸域の海産無脊椎動物ともに計画通り。Note コラムに JaLTER MetaCat とのリンクを張ることにより生態系情報とのリンクを図った。

### 4. データのクオリティ・コントロールについて

地表俳諧性甲虫、沿岸域の海産無脊椎動物の標本のデータベース入力においては、ともに経験のあるパラタクソニストが同定の上、チェックは専門家(北海道大学に所属する海洋生物の分類学者など)に依頼した。昨年まで同定が困難であったクロナガオサムシ属の雌個体も専門家からの訓練の結果パラタクソニストが同定可能となった。沿岸域の海産無脊椎動物については、多毛類の同定に一部困難な種が含まれ、現在、分類を担当できる専門家を探索中である。

### 5. データ公開について

#### 5-1. H21 年度作成データの公開時期と公開方法について

現時点で自機関においては試験公開済み。GBIF 日本ノードにおいては 2010 年 4 月から公開予定。

#### 5-2. データ公開の問題点について

地表俳諧性甲虫の希少種については細かな生息地情報を公開することは避ける。沿岸域の海産無脊椎動物については、特に問題点なし

### 6. システムの改修について

当初計画どおり

### 7. 課題終了後の運用について

GBIF 日本ノードに公開するとともに、JaLTER データベースにも登録公開する。

### 8. 他機関、学会等との連携について

地表徘徊性甲虫、沿岸域の海産無脊椎動物ともに、環境省モニタリングサイト 1000 のデータベース、および JaLTER データベースにもリンクすることが検討されている。現在、関係者と問題点があるかどうかについて検討中である。

## 9. 国内的・国際的寄与について

(単年度報告書では記載不要)

### 9-1. 作成データの国内的・国際的寄与について

(1) 意義

(2) 国内的位置付け

(3) 国際的位置づけ

(単年度報告書では記載不要)

### 9-2. 研究者の活用、育成、協力への寄与について

(単年度報告書では記載不要)

## 10. 平成21年度 推進体制

代表研究者	日浦勉、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター、教授 環境省モニタリング1000（森林分野）との連携
参加研究者 (自機関・他機関を含む)	戸田正憲、北海道大学低温科学研究所、教授 分類学者との連携 仲岡雅裕、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター、教授 環境省モニタリング1000（沿岸分野）との連携 大手信人、東京大学農学生命研究科、准教授 JaLTER データベースとの連携 鎌内宏光、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター、博士研究員、 環境省モニタリングサイト1000（沿岸分野）との連携 真板英一、国立環境研究所、ポスドクフェロー JaLTER データベースとの連携 神保宇嗣、東京大学大学院総合文化研究科広域システム科学、特任研究員 GBIF データベースとの連携
アルバイト等	学術研究員 1 名（データ入力） 短期支援員 1 名（地表徘徊性甲虫：標本作成、同定、データ入力） 稲荷尚記、北海道大学総合博物館資料部研究員 データベース構築 短期支援員 3 名（海産無脊椎動物：標本作成、同定、データ入力）
アドバイザー委員会	JaLTER にあり
ワーキンググループ	JaLTER に情報委員会あり

## 1.1. 平成22年度 推進体制（見込み）

代表研究者	日浦勉、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター、教授 環境省モニタリング1000（森林分野）との連携
参加研究者 （自機関・他機関を含む）	戸田正憲、北海道大学低温科学研究所、教授 分類学者との連携 仲岡雅裕、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター、教授 環境省モニタリング1000（沿岸分野）との連携 大手信人、東京大学農学生命研究科、准教授 JaLTER データベースとの連携 鎌内宏光、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター、博士研究員 環境省モニタリングサイト1000（沿岸分野）との連携 真板英一、国立環境研究所、ポスドクフェロー JaLTER データベースとの連携
雇用等を希望する アルバイト等	学術研究員 1 名（データ入力） 地表徘徊性甲虫、海産無脊椎動物：ともに短期支援員 1 名 （標本作成、同定、データ入力） 稲荷尚記、北海道大学総合博物館資料部研究員 データベース構築
アドバイザー委員会	JaLTER にあり
ワーキンググループ	JaLTER に情報委員会あり

## 1.2. スケジュール

	H20 年度	H21 年度	H22 年度
データ作成・入力	△ 同定		
試験公開 ※1	→ 自機関	→	
公開 ※1		→ 自機関 GBIF 日本ノード	→
その他 ※2	△ 会議	△ 会議	△ 会議

自機関および GBIF 公開が遅れた理由：モニタリングサイト 1000 での希少種公開判断の遅れによる。

自機関公開 URL:<http://ikegam2.fsc.hokudai.ac.jp>